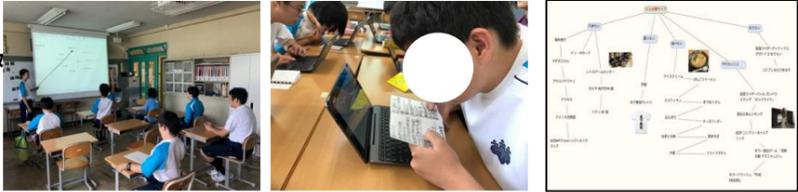


教材・支援機器活用実践事例フォーマット

<p>実践年度・タイトル</p>		<p>平成29年度 知的障害者が夢を探し表明すること—アイディアプロセッサを使ってドリームマップを作ろう—</p>
<p>授業について</p>	<p>教科名等</p>	<p><input type="checkbox"/>国語 <input type="checkbox"/>社会 <input type="checkbox"/>算数/数学 <input type="checkbox"/>理科 <input type="checkbox"/>生活 <input type="checkbox"/>音楽 <input type="checkbox"/>図画工作/美術 <input type="checkbox"/>家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/>体育/保健体育 <input type="checkbox"/>道徳 <input type="checkbox"/>外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/>総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/>特別活動 <input type="checkbox"/>自立活動 <input checked="" type="checkbox"/>各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/>その他の教科 <input type="checkbox"/>その他()</p>
	<p>単元・題材名</p>	<p>生活単元学習「ドリームマップを作ろう！」</p>
	<p>授業の目標</p>	<p>調べ学習や職場見学を通して自らの「夢や希望」を拡げ、それらをドリームマップとしてまとめる</p>
	<p>観点別学習状況の評価の観点</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>「知識・理解」 <input type="checkbox"/>「技能」 <input checked="" type="checkbox"/>「思考・判断・表現」 <input checked="" type="checkbox"/>「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/>その他()</p>
<p>学習集団と子供の実態</p>	<p>学校・学部・学年・人数</p>	<p><input type="checkbox"/>通常の学級 <input type="checkbox"/>通級による指導 <input type="checkbox"/>特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/>特別支援学校 <input type="checkbox"/>就学前 <input type="checkbox"/>小学生 <input type="checkbox"/>中学生 <input checked="" type="checkbox"/>高校生以降 <input type="checkbox"/>特定されない 高等部1年8名</p>
	<p>対象の障害</p>	<p><input type="checkbox"/>視覚障害 <input type="checkbox"/>聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/>知的障害 <input type="checkbox"/>肢体不自由 <input type="checkbox"/>病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/>言語障害 <input checked="" type="checkbox"/>自閉症 <input type="checkbox"/>情緒障害 <input type="checkbox"/>LD(学習障害) <input type="checkbox"/>ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input checked="" type="checkbox"/>その他(ダウン症)</p>
	<p>子供の課題(特性・ニーズ)</p>	<p><input type="checkbox"/>見る <input type="checkbox"/>聞く <input type="checkbox"/>話す <input type="checkbox"/>読む <input type="checkbox"/>書く <input type="checkbox"/>計算する <input type="checkbox"/>推論する <input type="checkbox"/>運動と姿勢 <input checked="" type="checkbox"/>日常生活活動 <input type="checkbox"/>不注意 <input type="checkbox"/>多動性—衝動性 <input checked="" type="checkbox"/>社会性・コミュニケーション <input type="checkbox"/>覚える・理解する <input type="checkbox"/>その他</p> <p>高等部1年に在籍する生徒のうち7名は日常的なコミュニケーションは言葉で取ることが可能である。1名は内言語は有するものの発話はあまりなく、エコリアが多いが、最近になって単語や短い文で要求を伝えることができるようになってきた。全員ひらがなを読み書きすることができ、パソコンでのかな入力が可能である。</p>
<p>ICT活用について</p>	<p>使用した支援機器・教材の名称と画像</p>	<p><input type="checkbox"/>スクリーン及びプロジェクタ <input type="checkbox"/>OPC <input type="checkbox"/>アイディアプロセッサ</p> 
	<p>活用のねらい</p>	<p>Aコミュニケーション支援(<input checked="" type="checkbox"/>A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/>A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/>B1情報入手支援 <input type="checkbox"/>B2機器操作支援 <input type="checkbox"/>B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/>C1教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/>C2認知発達支援 <input checked="" type="checkbox"/>C3社会生活支援)</p> <p>単元の全体計画を踏まえ、学習の進展とともに自分の「夢や願い」の拡がりを視覚的に捉え、情報を整理する点から活用を図った。</p>
<p>授業に授業展開支援</p>	<p>授業展開と画像</p>	<p>●小単元1「自分の夢を語ってみよう」:自分の夢を語る授業を行った。語られた内容は教師がアイディアプロセッサ(思いついた事柄をメモ書きしていきそれをグラフィカルに構造化していくためのソフトウェア。アウトラインのツリー表示だけでなくチャート図作成機能なども備える。)を用いて即時入力し、生徒の夢を図として表したドリームマップを一人一人作成した。 ●小単元2「働く生活について考えよう」:小単元2では年間行事計画表の作成を通して、中学部まではなかった「現場実習」をテーマに、本校における進路決定のプロセスについてアイディアプロセッサを用いて作成した図を見ながら、卒業後には働く生活を知り、先輩の現場実習の様子をビデオで見たり、複数回の職場見学(3回、企業3社、作業所3所)を行い、自分がやってみたい仕事や職業について学習を行った。 ●小単元3「夢について考えてみよう」:生徒本人と家族に夢アンケートを実施した。本人も答えやすいように「欲しいもの」「やりたいこと」「できるようになりたいもの」といったキーワード毎に項目立てをし、自宅で記入してもらった。また、保護者用のアンケートには保護者本人の夢と生徒本人に対する夢や想いを記述できるようにした。そして、昨年度本校中学部で実施した、本校在籍全生徒とその保護者、全職員に対して行った「夢に関するアンケート調査」の結果を眺めながら、改めて自分の夢について考え、気になる意見をメモしていった。 ●小単元4「真ドリームマップ完成」:小単元2、3の学習を振り返りながら、小単元1で作成したドリームマップの加筆修正を行って「真ドリームマップ」を作成した。それらをお互いに発表しあい生徒間で共有し、さらに後日行われた三者面談で保護者とも共有した。(三者面談では、三者で話しあった内容をアイディアプロセッサで即時入力しながら、ドリームマップにあることを叶えるための指導の見通し図である「15の地図」を作成した。)</p>
<p>効果・評価</p>	<p>子供の様子や変容および授業の評価</p>	<p>全員、ドリームマップを作成することができた。図の内容を整理するために教師が多少の手を加えたが、それ以外は全て生徒たちが操作を行った。また、学習に取り組む前のドリームマップと学習後に加筆修正を加えたドリームマップを比較してみると、ほぼ全ての生徒がより内容が広がり深まったりしている「真ドリームマップ」を作成することができた。また、生徒同士で教室に掲示してある「真ドリームマップ」を見ながら夢について話すなどの姿が見られた。</p>